

< 第1部 >

B e e p B e e p B e オーライ

本来の弾き語り Ver.とライダーズ Ver.が著しく異なる一曲目。
かつてのライブでは一ヶ月毎にアレンジが変化していたとか？

自由なメロディ

はちみつばい時代のナンバー。

97年のラ・カーニャを見逃した者としては念願叶ったりでしたね。

別れのナイフ

野澤享司さんを彷彿させるブルース Ver.

キサラ恋人

もしやライブで披露されたのはかなり久しぶり？

エゴイスト

ソロでやろうと練習つつも難しくて却下されがちならしい・・・

恋のためらい

「皆さんの手拍子お願いします」とお願いされたにも関わらず、
曲に聞き惚れ、誰ひとり手拍子しなかったという(苦笑)

小さな兵士

お手製のカラオケ持参。いつの日か音源化してほしいものです。

詩人の宝石

石田純一さんとの打ち合わせ秘話なんざも交えておりましたが、
こんな風に一度くらいは言われてみたいような気もする？

< 第2部 >

冬のバラ

ピアノ弾き語りですっきり、うっとり。

F r o u F r o u

異色のピアノアレンジは矢野顕子さんを彷彿したのは私だけ？

F i n ~ 巡りあい

続いても珍しいギター弾き語り

服を脱いで、僕のために
岡田さんの「月面讃歌」作成秘話なんかも交えておりましたねえ。

唇のフィアンセ
個人的にマイブームなので、いつ聴いても切ないです。

d i a l o g u e
今回は完全ソロだったのでカラオケをバックに。

柔らかいポーズ
やはりいつ聴いてもドキドキしますね。

ひまわり
何も言わずともみんなで歌ってました、すごく楽しかったです(お酒の力?)

青空のマリー
いきなりの変化球。まさか仙台で聴けるとは・・・
歌詞がちとあやふやではありましたが(苦笑)

O . K パ ト ウ ド ウ
歌声喫茶状態を満喫させて頂きました。

< アンコール 1 >
ガールハント～スカーレットの誓い～二十世紀鋼鉄の男(メドレー)
イントロ部分・手出しのトチりもご愛敬な「ガールハント」
ヤーヤーコーラス・テンポ指導付きの「スカーレットの誓い」
吉祥寺に引き続き「二十世紀鋼鉄の男」、いやはや凄いメドレーでした。
これを機にこういったメドレーをまたライブでやって頂けると嬉しいです。

気球と通信
この曲って「最後にふさわしい華々しい曲」だったのか・・・
今回のライブで一番印象深かったです。

D / P
ちょっとツライけど、最後なんだなぁと余韻に浸り聴いてました。

暖炉のパーカッションは今回おとなしかったのですが、
演奏側もお客側もゆったりした雰囲気のリブだったなぁと思いました。

休憩中、主催者である三浦マサヨシさんからの粋な計らいにより日本酒が
ふるまわれたのですが、大変飲みやすく美味でありました。

HP 掲載に当たりオリジナル原稿より改行位置変更させて頂きました。
(檜の会 KRAFT.WARTZ)